

あなたを守り、誰かを助けるための 3つのアクション

～災害時の医療を守る備え～

災害直後から数日間は、多くの医療機関が混乱し、機能しなくなることが予想されます。そのため、すべての傷病者がすぐに治療を受けられるわけではありません。限られた医療資源の中でより多くの命を救うため、治療の優先順位をつけて対応していくことになります。災害時に自分や家族の命を守るための、「3つのアクション」をお願いします。



アクション①

災害時の医療を学ぼう

●総合病院等は重症者の対応をします

病院は、意識がない、広範囲のやけどなどの重症者の対応をします。切り傷や、持病の薬がなくなりそうなど、緊急に生命に関わらない理由で多くの人が病院に行くと、重症者の受け入れができません。



●自分で歩ける人や軽いけがは、 近隣のクリニックおよび応急救護所を活用しましょう

傷病者に対しトリアージ※を行い、応急処置や医療機関への搬送調整等を行います。応急救護所は、多くの医療機関が被害を受け機能しない場合等、被災状況に応じて開設されます。

※トリアージとは、傷病者の重症度に応じて、治療や搬送順位を色分けして決めること



＋ 応急救護所指定施設 24か所

●災害状況に応じて開設します
※開設している施設は、各種メディアや避難所で周知します

前芝中学校	北部中学校	花田小学校	吉田方小学校	牟呂小学校	八町小学校
新川小学校	青陵中学校	石巻中学校	鷹丘小学校	東陽中学校	豊岡中学校
高師小学校	南部中学校	高師台中学校	中野小学校	章南中学校	大清水小学校
高豊中学校	二川小学校	岩西小学校	五並中学校	休日夜間急病診療所	明海地区産業基地

私の近くの
応急救護所



アクション2・3は
裏面でチェック!

アクション②

命を守るために備えよう

- けが防止** 建物耐震化、家具の固定や配置の見直し
- 火災防止** 感震ブレーカーの設置
- 備蓄品の準備** 最低3日分(できれば1週間分)の水、食料、トイレ等
- 薬の管理** お薬手帳を持ち歩く、マイナ保険証の活用、3~7日分の持病の薬等



ほかにも、家庭で必要なものは日ごろから備えておきましょう



アクション③

応急手当を学ぼう



●けがをした場合に備え、応急手当の方法を知っておきましょう

切り傷などによる出血

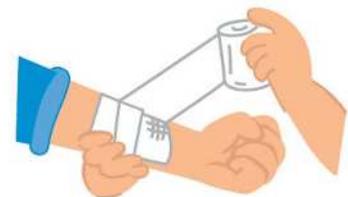
- 1 感染を防止するため、ビニール袋などで手を覆います。



- 2 出血しているところに大きくて厚さのあるきれいなガーゼやハンカチを当てて強く押さえます。
(心臓よりも傷口を高くすると、止血効果が高まります。)



- 3 包帯があれば、ガーゼやハンカチの上から巻きます。

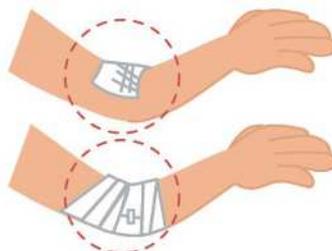


やけど

- 1 やけどしたところを、流水で冷やします。
(やけどした場所が服の下であれば、服の上から流水で冷やします。)



- 2 消毒ガーゼかきれいな布を当て、包帯をします。



- 3 やけどがひどい場合は医師の手当を受けましょう。

